

富山高等専門学校		開講年度	令和04年度（2022年度）		授業科目	環日本海諸国語ⅡB(ロシア語)
科目基礎情報						
科目番号	0031		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	"ПОЕХАЛИ!" ("Let's go!") 1-1、その他別途指示する					
担当教員	山本 有希					
到達目標						
(1)アルファベットの読み書きを修得する (2)名詞等の性数変化の概念、動詞人称変化を理解する (3)単位認定には50点以上を必要とする						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	名詞の性別、格変化の概念及び動詞人称変化などの項目を活用した口頭表現がスムーズにできる。		名詞の性別、格変化の概念及び動詞人称変化などの項目を活用した口頭表現ができる。		名詞の性別、格変化の概念及び動詞人称変化などの項目を活用した口頭表現が満足にできない。	
評価項目2	上記文法事項を活用した口頭表現の発表がスムーズにできる。		上記文法事項を活用した口頭表現の発表ができる。		上記文法事項を活用した口頭表現の発表が満足にできない。	
評価項目3	ペアワークやグループワークにおいて、積極的に表現を考え、発表することが良くなる。		ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができる。		ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	【授業の目標と概要】 (目標) ロシア語の音読や会話を中心に、広くロシア社会・文化等への関心を養う。 (概要) ロシア文字の発音、名詞・形容詞等の性数変化、動詞の現在人称変化を用いた表現を修得する					
授業の進め方・方法	教員単独による講義と演習 事前に行う準備学習：講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと。 授業外学習・事前：授業内容を予習しておくこと。 授業外学習・事後：授業内容を復習すること。					
注意点	<授業改善策> ・学生の理解度を質問等で確認しながら講義を行うよう努める。 ・評価が50点に満たない者は願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を50点とする <備考> 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画や評価項目及び評価割合は変更することがある 3)定期試験（中間試験及び期末試験）を70点、その他(発表、課題、小テストなど)を30点として評価する					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第9～11課	名詞の前置格の用法を理解し、「～の上に」「～の中に」及び「私はモスクワに住んでいる」と話することができる		
		2週	第12課	述語表現と動詞過去形を学習し、「昨日、～した」と話することができる		
		3週	第13課	場所の表現及び、「(球技)をする」、「(楽器)を弾く」を学習し、話することができる		
		4週	第14課	対格を用いた目的語の用法を学習し、「～したい」と話することができる		
		5週	第15、16課	数詞、季節、天候、時間、時刻の表現方法を学習し、表現することができる		
		6週	第17～19課	1日の行動(起床～就寝)の表現及び形容詞の原級、最上級の用法学習し、表現できる		
		7週	中間試験	既習事項の確認を行う		
		8週	試験返却 第20、21課	試験の返却および解説 述語と副詞の用法を理解し、必要、禁止、許可の表現を修得する		
	4thQ	9週	第23課	話題やテーマの表現を修得する 「～について書く、話す」		
		10週	第24～26課	対格表現を覚え、目的語を表現できる		
		11週	第27、28課	形容詞の前置格を学習し、場所の表現に用いることができる		
		12週	第29課	運動の動詞を覚え、移動の様子を表現できる		
		13週	第30課	運動の動詞を覚え、移動の様子を表現できる		
		14週	まとめ	学習事項のまとめを行う		
		15週	期末試験	既習事項の確認を行う		

		16週	成績確認		1)成績評価・確認 2)授業評価アンケートの実施			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	20	0	0	0	10	100	
基礎的能力	70	20	0	0	0	10	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	